

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	D-1-4
事業名	道路事業（市街地相互の接続道路等）
事業費	総額 366,741 千円（国費 284,224 千円） （内訳：工事費 347,047 千円、測量設計費 19,119 千円、用地費 575 千円）
事業期間	平成 24 年度～平成 29 年度
事業目的	津波被災地での現位置再生にあたっては、より安全な J R 常磐線以西への避難誘導が不可欠である。 しかしながら、現状では東西間の連絡性は良好ではなく、スムーズな避難誘導を図るためには、歩行者及び車両通行のためのさらなるネットワークの強化が必要と考えられることから、歩行者用の避難路として JR 常磐線を跨ぐ自由通路を整備するものである。 事業地区 双葉郡広野町下浅見川【JR 常磐線広野駅自由通路】
事業結果	道路（跨線橋）新設 工事延長 L=37.9m 幅員 W=3m
事業の実績に関する評価	① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本路線の整備により、J R 常磐線以西への避難誘導がスムーズかつ安全に行えるようになり、地域住民の不安解消や利便性の向上にも繋がったと考えられる。 ② コストに関する調査・分析・評価 震災からの復旧・復興工事の増加に伴い、資材・労務単価が高騰する厳しい状況下にあったが、入札により適正に受注者が選定されており、当該補助限度額の範囲内で実施できたことから、事業費は妥当な規模であると考えられる。 ③ 事業手法に関する調査・分析・評価
当初計画	平成 24 年度～25 年度 地域等の合意形成（JR 協議） 平成 25 年度 測量設計・用地買収 平成 26 年度～27 年度 跨線橋工事
実績	平成 24 年度～25 年度 地域等の合意形成（JR 協議） 平成 25 年度～26 年度 測量設計 平成 28 年度 用地買収 平成 27 年度～29 年度 道路（跨線橋）工事
	当初計画は 1 日でも早い復旧・復興を目指したため 4 年で計画したが、広野駅西側部分で架空電力線が支障となり、列車運行の安全性を考慮しながらの支障移転に不測の時間を要したことから、事業期間を 2 年間延伸した。
事業担当部局	広野町復興企画課 電話番号：0240-27-1251

広野町復興交付金事業計画位置図

S=1 : 2,500

広野町役場

国道 6 号

至 仙台

至 仙台

広野駅

至 いわき

至 東京

D-1-4
道路事業 (市街地相互の接続道路等)
JR常磐線広野駅自由通路 L=37.9m W=3.0m

J R 常 磐 線



X=126,000

Y=103,500

X=125,000

X=124,000

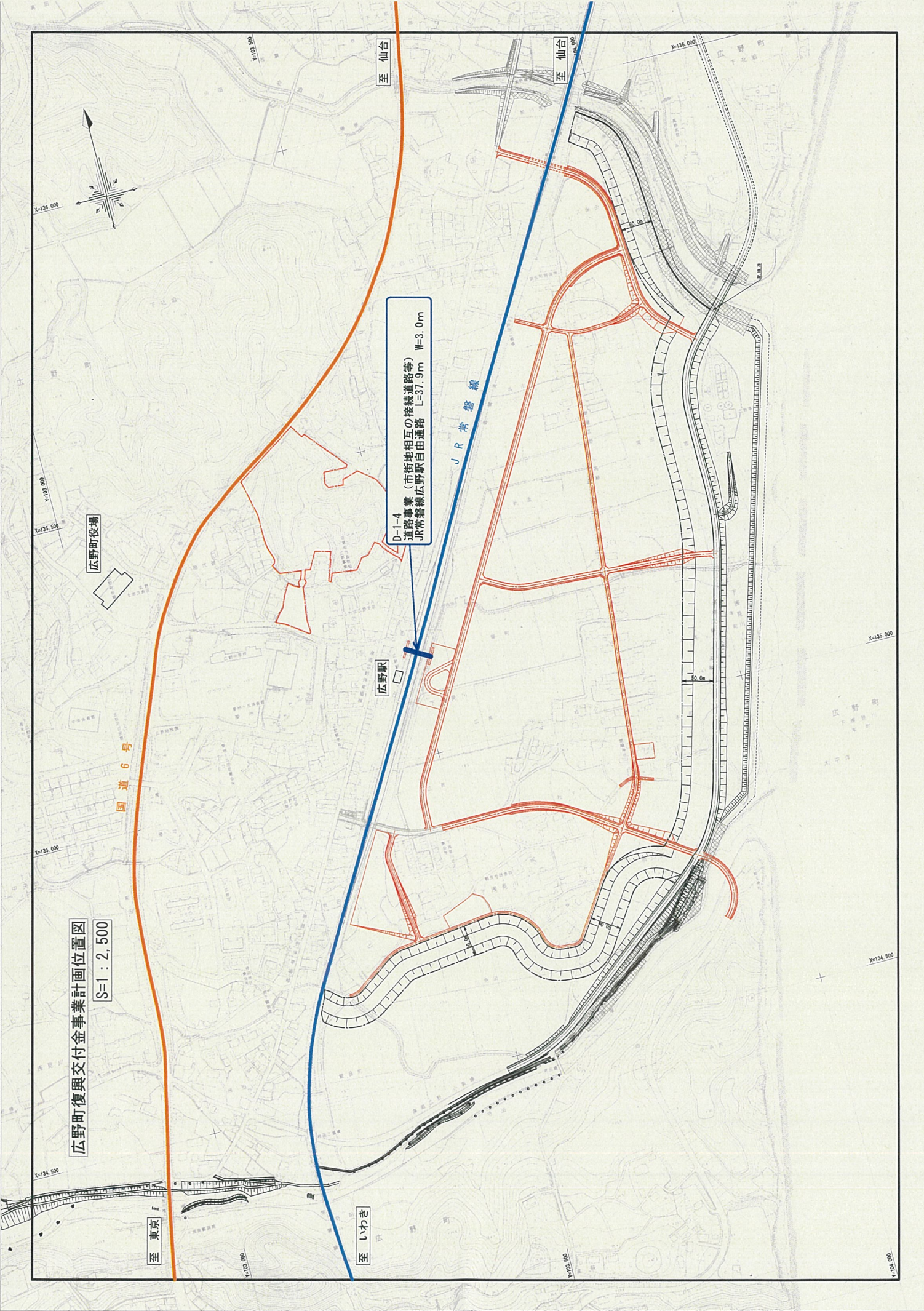
Y=103,000

Y=102,500

X=125,000

X=124,000

Y=104,000



工事写真

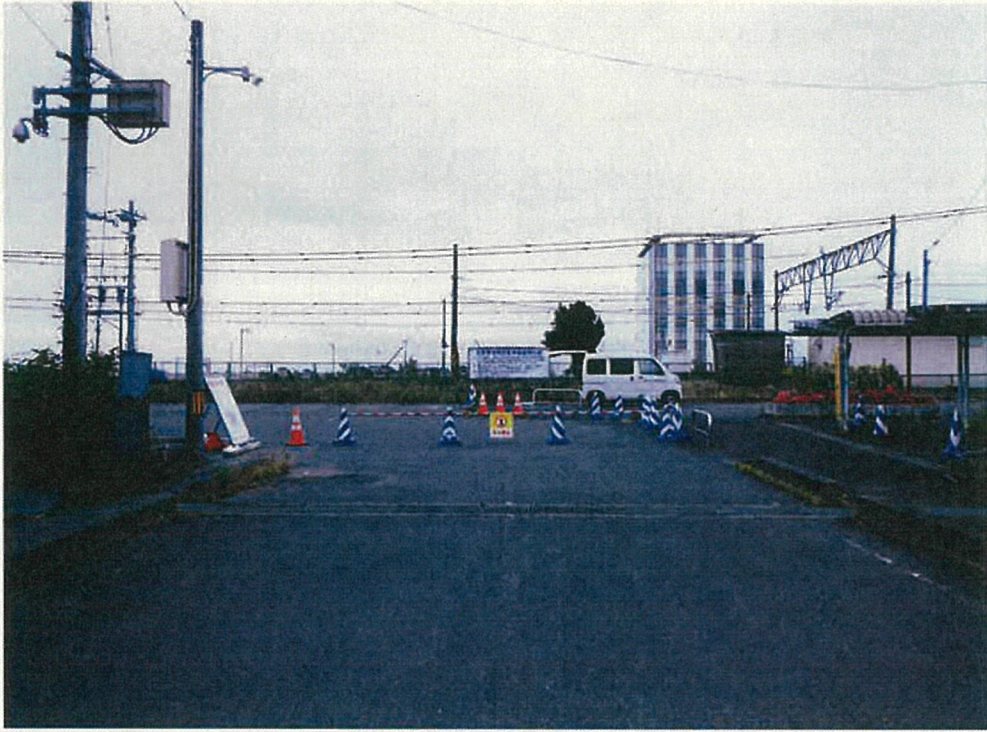


施工前



施工後

工事写真



施工前



施工後

工事写真



施工前



施工後

工事写真



施工前



施工後

工事写真



施工前



施工後